

# 仙台湾南部海岸 本復旧工事の概要

## ■ 被災した海岸堤防の復旧までの流れ

被災



緊急復旧



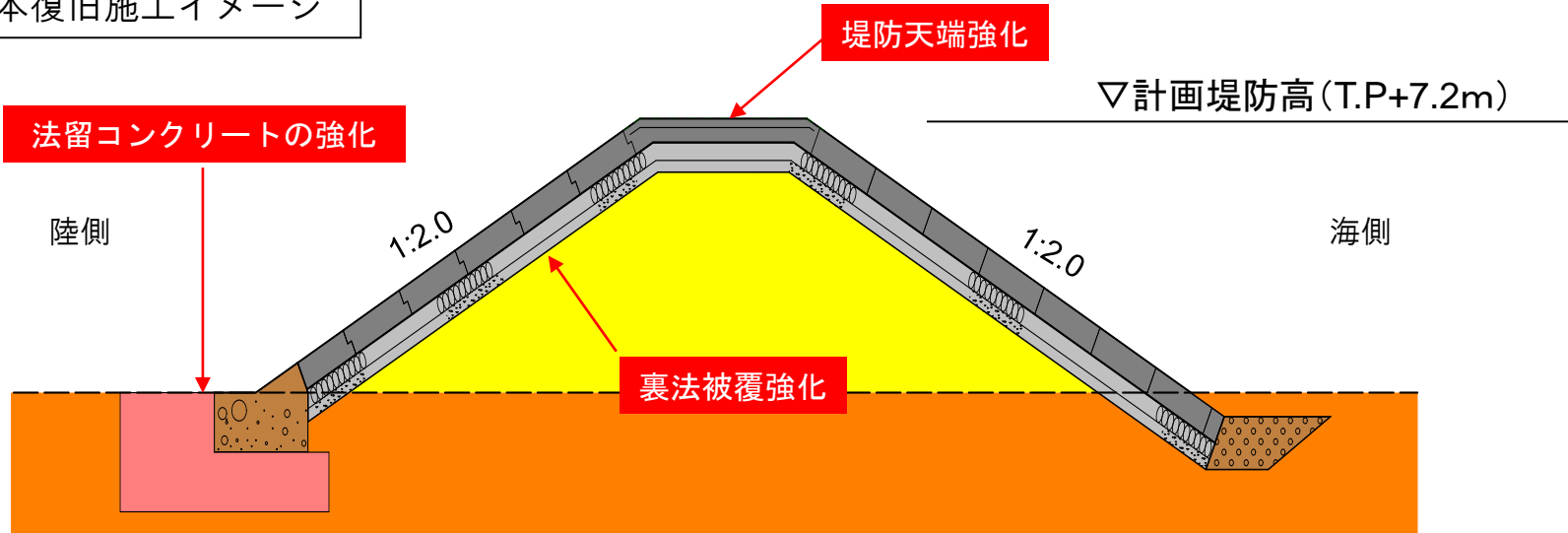
本復旧

- 本復旧：地域の復興計画と整合を図り、海岸の計画堤防を整備する復旧。

## ■ 対応状況

- 本復旧実施箇所：仙台湾海岸（深沼北工区、深沼南工区）、名取海岸（閑上・北釜工区）、岩沼海岸（二の倉工区、蒲崎工区）、山元海岸（笠野工区、中浜工区）
- 7工区(約29km)で復旧工事を実施し、平成28年度末に本復旧を完了予定。

本復旧施工イメージ



# 仙台湾南部海岸 本復旧堤防の構造

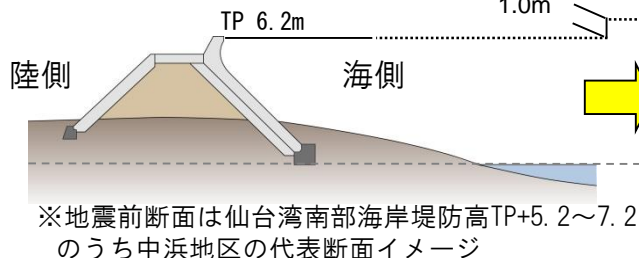
## 本復旧の設計にあたって

海岸堤防設計に当たっては下記の事項に配慮します。

- ①海岸堤防の高さの基準となる水位の設定：「高潮」と「頻度の高い津波」を考慮。
- ②粘り強い堤防構造：海岸堤防の破壊、倒壊までの時間を少しでも長くすることを目指した構造上の工夫を実施。
- ③景観への配慮：周辺の景観や環境に配慮。

## 海岸堤防断面

### 地震前断面



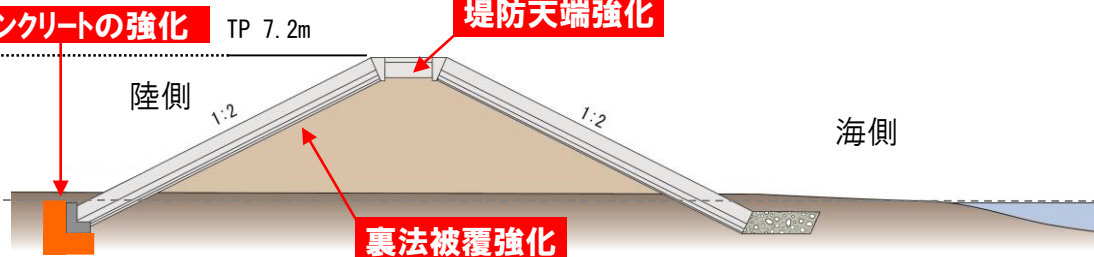
### 復旧断面

堤防が大きく強くなります。

法留コンクリートの強化

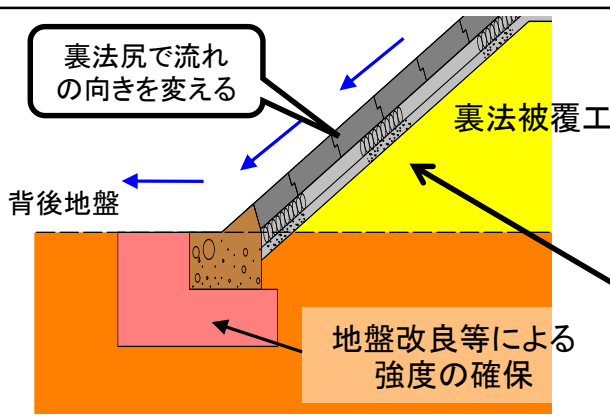
堤防天端強化

裏法被覆強化

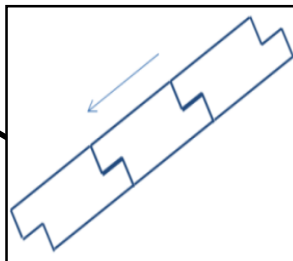


## 裏法被覆強化等

「表法被覆工と同等の厚み・重量を確保」  
コンクリートブロック  
(2.0t型 t=500mm以上)

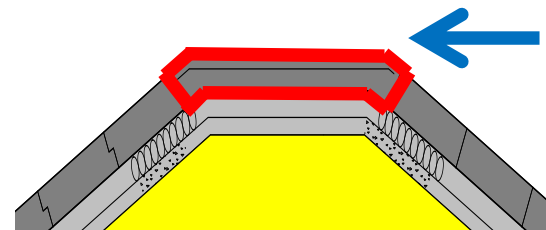


ブロックの連結は  
法面上下方向にかみ合わせ構造



## 堤防天端強化

- ・天端被覆工と一体構造とする
- ・表法被覆工と同等の厚み・重量を確保



# 仙台湾南部海岸 本復旧堤防の構造

## 《国土技術政策総合研究所による海岸堤防実験》

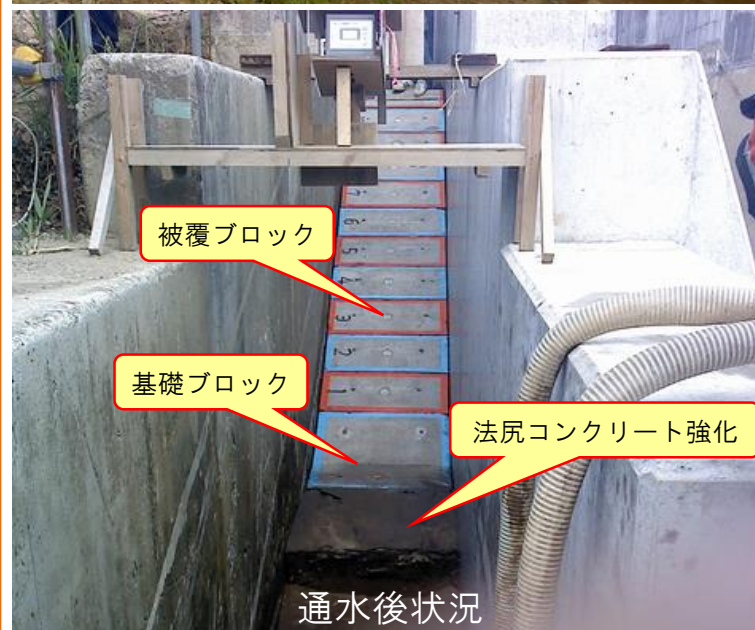
実施月日：平成24年 5月31日

実施概要：実物大の1/2スケール。  
東日本大震災の津波規模を再現。  
仙台湾南部海岸から採取した土砂にセメントを混合し、法尻コンクリートを強化。  
堤防裏法面の被覆ブロックは噛み合わせ構造。

実施結果：津波越流時・越流後においても大きな損傷もなく、粘り強い構造設計の実験は成功。



通水中の立会状況



被覆ブロック

基礎ブロック

法尻コンクリート強化

通水後状況



通水前状況



通水中状況

# 仙台湾南部海岸 本復旧工事の範囲

